【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公表番号】特表2018-512389(P2018-512389A)
【公表日】平成30年5月17日(2018.5.17)
【年通号数】公開・登録公報2018-018
【出願番号】特願2017-545680(P2017-545680)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/395　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/50　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/68　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/02　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　14/53　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　16/24　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　16/46　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　 1/68　(2018.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　45/00　ＺＮＡ
Ａ６１Ｐ　 9/00
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｄ
Ａ６１Ｋ　39/395　Ｎ
Ｇ０１Ｎ　33/50　Ｐ
Ｇ０１Ｎ　33/68
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ａ
Ｃ１２Ｎ　15/00　Ｃ
Ｃ０７Ｋ　14/53
Ｃ０７Ｋ　16/24
Ｃ０７Ｋ　16/46
Ｃ１２Ｑ　 1/68　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成30年12月13日(2018.12.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
大動脈解離または大動脈壁内血腫の進行もしくは再発の治療、予防、または改善における使用のための、抗顆粒球マクロファージコロニー刺激因子（ＧＭ－ＣＳＦ）抗体またはその抗原結合断片。
【請求項２】
前記抗ＧＭ－ＣＳＦ抗体またはその抗原結合断片が、急性大動脈解離の一次修正手術を

受けた対象における再発性大動脈解離を予防するために、または慢性大動脈解離を有する対象における大動脈解離の進行を予防するために使用される、請求項１に記載の使用のための、抗ＧＭ－ＣＳＦ抗体またはその抗原結合断片。

【請求項３】

前記抗ＧＭ－ＣＳＦ抗体またはその抗原結合断片が、配列番号２、またはその変異型もしくは断片に特異的に結合する、請求項１または２に記載の使用のための、抗ＧＭ－ＣＳＦ抗体またはその抗原結合断片。

【請求項４】

前記抗ＧＭ－ＣＳＦ抗体またはその抗原結合断片が、配列番号３、またはその変異型もしくは断片に特異的に結合する、請求項１～３のいずれか１項に記載の使用のための、抗ＧＭ－ＣＳＦ抗体またはその抗原結合断片。

【請求項５】

前記抗ＧＭ－ＣＳＦ抗体またはその抗原結合断片が、モノクローナル抗体またはその抗原結合断片を含む、請求項１～４のいずれか１項に記載の使用のための、抗ＧＭ－ＣＳＦ抗体またはその抗原結合断片。

【請求項６】

前記抗体が、ヒトまたはヒト化抗体である、請求項１～５のいずれか１項に記載の使用のための、抗ＧＭ－ＣＳＦ抗体またはその抗原結合断片。

【請求項７】

請求項１～６のいずれか１項に記載の抗顆粒球マクロファージコロニー刺激因子（ＧＭ－ＣＳＦ）抗体またはその抗原結合断片、及び必要に応じて薬学的に許容されるビヒクルを含む、大動脈解離または大動脈壁内血腫の進行もしくは再発の治療の薬学的組成物。

【請求項８】

治療上有効な量の請求項１～６のいずれか１項に記載の抗ＧＭ－ＣＳＦ抗体またはその抗原結合断片を、薬学的に許容されるビヒクルと複合することを含む、請求項７に記載の薬学的組成物の作製プロセス。